

日本経済 2020 年危機 経済学の嘘が日本を滅ぼす！

三橋貴明 経済科学出版

安倍首相の告白「日本のメディアは報じない “3つの敵”」

～自分には3つの敵がいると、安倍首相と会食の際に一つ目は「朝日新聞に代表される反日左翼」二つ目は「財務省」三つ目は「国際金融資本」との言葉が印象的だった。

* GDP 成長から見たら日本は落第生だ！～1996 年比世界経済の成長率は中国 13 倍、インド 5、7 倍 カナダ 2、4 倍 米国 2、3 倍 英国 1、9 倍 劣等生では、仏・伊・独 1、4～1、5 倍、日本は“1倍”で落第生なのだ。

* 20 年も財務省の間違った政策により日本は衰退への道をひた走っている～断言するが日本が財政破綻する可能性はゼロである。財政破綻の定義は1つで“政府が負債の返済不能又は利払い不能のこと”実績ではギリシャのユーロ建て負債アルゼンチンとロシアのドル建て負債だった。日本政府の負債は 100%円建てしかも 44%は日銀保有している、つまり国が子会社からの借り入れで返済の必要はない（連結決算）

* かつての「インフラ大国」は「インフラ劣等国」に落ちぶれている～主要国の高速道路比較で国民一人当たりは日本 0、2 km 英・独 1、4 km 仏 1、7 km 米 6、7 km 世界の港湾別コンテナ取扱数は東京湾 29 位 横浜港 54 位 神戸港 57 位に落ちぶれたのは超大型コンテナ船が入港できない為新幹線も高速道路も通っていない人口 20 万以上の都市は独 1 市、仏 2 市、日本は 45 市もある。

* 狂った経済学により日本は亡国への道をひた走っている～自然災害大国でありながら災害から「守られない」国に落ちぶれた！2018 年 6 月土木学会試算の被害総額では首都圏直下型地震 778 兆円、南海トラフ巨大地震では 1410 兆円～地震対策費は事後処理に比べ桁違いに安い支出効果も生産性向上と人件費を引き上げる（ライフラインの更新・耐震化・長寿命化、電柱地中化、防潮堤整備等）

* 2013 年 6 月安倍政権は PB(基礎的財政収支)を閣議決定してしまった。PB 黒字化目標は国債固定費を除く政府の歳入と支出を一致させようという発想で社会保障費が増える分を政府の他の予算は必ず削れ、或いは増税しろ、と云う話。

* 安倍政権発足前のデフレ対策は日銀の金融緩和、政府が財政出動でインフラ整備と需要創出（スーパーコンピューターで再び世界 1 位を目指す、再生医療に投資する）でこれ以上ないほどのデフレ対策だったが実際に発足するとアベノミクスは「金融政策 + 緊縮財政 + 構造改革」とデフレ化政策に変質してしまった。

* 安藤衆議院議員の呼びかけメンバーで安倍首相に 19 年度予算規模を前年比 3、2% 以上拡大する積極財政として ①10 兆円規模の政府需要拡大策 ②毎年 2、4 兆円程度当初予算の継続的拡大 ③消費税増税対策（軽減税率 5% で対象拡大）で事実上は消費減税、以上が実現すれば恐らく 3 年程度でデフレから完全脱却を果たす。

（おわりに）本書が正しい情報に基づき政治を動かす助けになる事を願いつつ（完）